

参考 1. 災害時要援護者の支援技術方策に関する検討会

(1) 検討会の目的

近年の高齢化の進展に加え、バリアフリーやユニバーサルデザイン等の提唱により、高齢者や身体障害者等に配慮した安全で安心して暮らせる社会の実現が求められている。一方で、毎年のように各地で発生している災害において高齢者や身体障害者等の防災上の配慮を要するもの（災害時要援護者）は災害時において情報収集や避難に困難を伴うことが多いことから、被災者となるケースが多いものと考えられる。

また、被災して負傷することで、誰でも一転して自力での避難が困難な災害時要援護者となる可能性がある。

国土交通省国土技術政策総合研究所は、災害時要援護者の被災の大幅な減少を目指し、災害時要援護者の行動・認識特性等を考慮した政策提言及び技術開発に向け、災害時要援護者の現状や課題についての検討を行うにあたり、専門的な知識を有する学識経験者等の助言を受けることを目的として、本検討会を設立した。

(2) 検討会の委員名簿

【委員】

石川 治江	ケア・センターやわらぎ 代表理事
高橋 和雄	長崎大学 工学部 社会開発工学科 教授
(座長) 山田 正	中央大学 理工学部 土木工学科 教授
山本 哲朗	山口大学 工学部 社会建設工学科 教授
吉川 勝秀	日本大学 理工学部 社会交通工学科 教授 慶応義塾大学 大学院 政策・メディア研究科 教授

(50 音順)

【事務局】

国土交通省 国土技術政策総合研究所 危機管理技術研究センター
財団法人 国土技術研究センター

(3) 検討会の開催経緯

年度	検討会	年月日	主な議題
平成 15年度	第1回検討会	H16. 1. 19	・災害時要援護者を取り巻く状況
	第2回検討会	H16. 3. 9	・災害時要援護者の実態 ・災害時要援護者対策の実態
平成 16年度	第1回検討会	H16. 9. 14	・平成16年7月の新潟・福島及び福井の豪雨災害の概要 ・要援護者の集中豪雨時及び台風時の課題と対策の分析
	第2回検討会	H16. 12. 13	・災害時要援護者の支援技術方策に係る中間提言（素案）
	第3回検討会	H17. 2. 9	・災害時要援護者の支援技術方策に係る中間提言（案）
平成 17年度	第1回検討会	H17. 10. 17	・ケーススタディの概要（モデル自治体：富山県入善町） ・洪水時の要援護者避難支援の具体化検討手順骨子素案
	入善町 検討準備会議	H17. 11. 4	・検討の必要性の認識、体制、スケジュールの確認 ・検討項目に対する必要資料リストの確認
	入善町 第1回検討会議	H17. 11. 21	・避難行動に係る現状整理についての作業の確認 ・要援護者避難支援検討マップ案の提示
	入善町 第2回検討会議	H17. 12. 20	・避難行動に係る現状整理 ・災害時要援護者に関する課題の整理 避難行動に係る現状と課題 避難所に関する現状と課題 要援護者避難支援検討マップにおける課題の確認 ・ワークショップの進め方
	第2回検討会	H18. 1. 24	・モデル自治体におけるケーススタディの中間報告 ・洪水時の要援護者避難支援の具体化検討手順の作成方針 ・洪水時を対象とした検討手順の災害全般への適用性
	入善町芦崎地区 ワークショップ	H18. 2. 4	・情報伝達・広報のあり方 要援護者の避難に求められる情報提供 わかりやすい情報の表現
	入善町小摺戸地区 ワークショップ	H18. 2. 17	・要援護者の特徴に応じた情報の入手方法 ・避難行動の実施方法 避難所までの避難経路、避難手段
	入善町 第3検討会議	H18. 3. 2	・ワークショップのまとめ ・課題と支援策（案）の整理 ・モデル自治体の災害時要援護者支援検討のまとめ
	第3回検討会	H18. 3. 16	・モデル自治体におけるケーススタディの成果 ・災害時要援護者の避難支援策の具体化検討手順（案）